

研究者として本当にお
もしろい!と思うこと、
本当にやりたい!と思う
ことは、時に「論文」
という形式や「学会」と
いう枠には、おさまり
きらないことがある!!
ゆえに自由に使える
研究資金をゲットせよ。

第6回 京都大学 学際研究着想コンテスト
エントリー期間 7.1 ~ 9.30

sponsored by かなえ 京都大学鼎会*

*京大卒業生財界トップによる総長支援団体

京大 学際センター

検索



用途制限ナシ！ 使用期限ナシ！

最優秀鼎賞 100万円
優秀賞 50万円
総長賞 30万円
奨励賞 10万円

各1組

----- 最大9組 **NEW**

前回の2組から大幅増！すなわち
書面審査に通過すれば、その時点で
少なくとも奨励賞ゲットが確定！

事業内容

研究者らが分野の壁を越えて研究テーマをぶつけ磨き合う研鑽の機会創出をねらいとし、チームで応募する賞金コンテスト型の研究奨励事業

審査基準

「物事の核心を突いている。ゆえにおもしろい」かどうか。
詳細は特設サイトにて

応募対象

異分野研究者からなるチーム形式で応募（学外者の参画も可）対象分野は問わない。学生・院生も応募可。ただしチームに本学教員1名以上含む

昨年度の応募者情報

教授11%、准教授23%、講師4%、助教8%、研究員11%、職員9%、院生30%、学部生4%

応募支援

キュレーターが相談窓口を開設。応募テーマの遂行やポスター絵デザインその他、応募したいが他分野の研究者に知り合いがないという場合にメンバー探索のお手伝も

審査プロセス

提出書類はA3ポスター絵1枚のみ。多分野・多業種からなる20名(予定)による本音での覆面書面審査(申請者情報は非公開)。例年約3倍程度の倍率を勝ち抜いた書面審査通過チームはキュレーターと内容を練り上げて最終審査へ。最終審査員は山極総長はじめ学内外有識者8名程度。5分間プレゼン後、ポスター発表形式で審査員および参加者全員が投票

書面審査通過後の支援

最終審査までの2ヶ月は、書面審査の結果を踏まえて内容をさらにブラッシュアップ。途中、最終審査員である山極総長からもコメントを頂き改良を続け、最終審査会に挑む

受賞者らの感想

年度をまたげる使途制約のほぼない研究支援金は大変うれしい ● 科研費や競争的資金のようなまとまることを前提とした提案ではなく、本当に自分が面白いと思い、面白いよねと言い合える仲間との出会いをもとに、どんどん可能性を追求できた ● 一次書面審査での本音ベースの審査結果は今後の研究にすごく役立つものだった ● キュレーターとのコンセプトを磨く作業は、普段の研究指導と全く別物。見せ方も学んだ ● 研究の最も基本的なアイデアについて他人の意見が貰え、それを洗練させることが出来る点が一番の価値だった ● 最終発表会は“競争”ではなく、皆で楽しむ雰囲気。京大ならではの ● 自分の研究分野を越えて「本質とは何か。どうやってそれを突き詰めるのか」を教えてもらう経験は貴重